2021　環境経営活動レポート

第 16版（取組期間：2021 年 10 月～2022 年 9 月）　2022 年 12 月 26 日発行

簡易版

NANSATSU TOKYOSHA Co.,Ltd.

有限会社南薩東京社

コンセプト

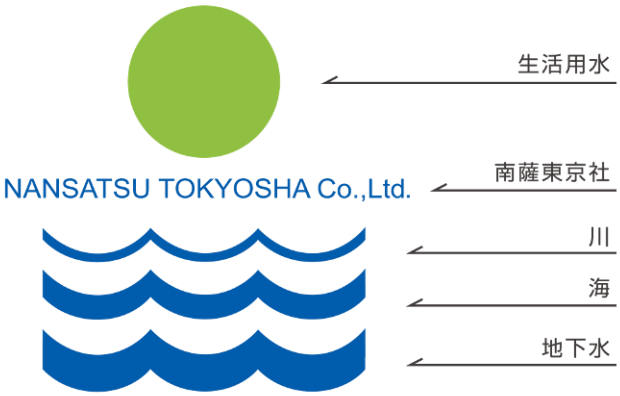
「クリーンな水を自然に戻そう」

環境の汚染が問題になっている昨今、今何が一番大切だろうか?

このマークは、人が汚した生活用水を南薩東京社を介して自然に戻すことを表現しました。(グリーン)

下の3つの波は、川と海と地下水を表現しています。(ブルー)

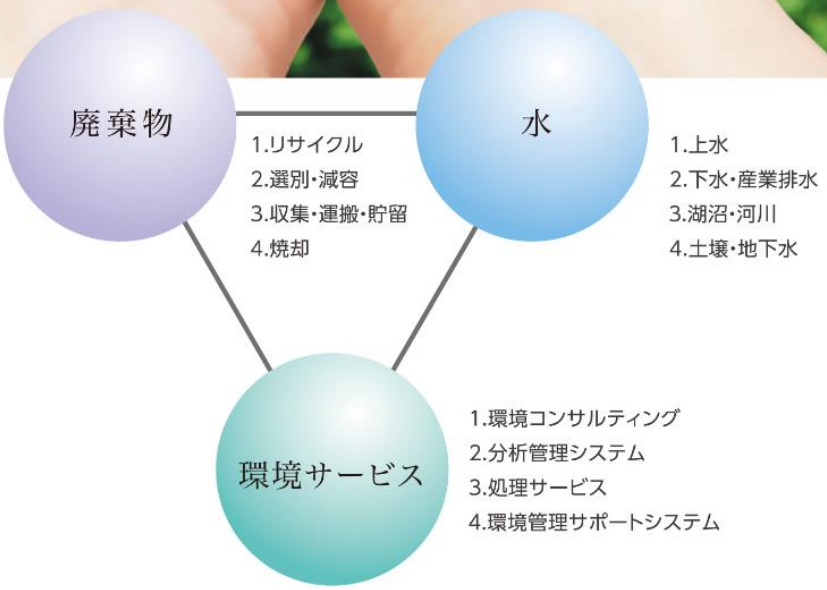
また波はリズミカルなカーブで自然と水が喜んでいることを表し、人間と自然のために重要な役割を果たしていることをシンボライズしました。



目　　次

１．会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
３．過去の実績および 2021 年度環境目標 ・・・・・・・ 8
４．2021 年度主な環境活動計画及び取組み状況の評価　9
５．2021 年度環境負荷の詳細な実績と評価・・・・・　10
６．地域社会貢献活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
７．関連法規の違反・訴訟など・・・・・・・・・・・・・ 15
８．代表者による全体の評価と見直し・・・・・・・・・ 16
10．2022 年度主な環境活動計画及び取組・・・・・・　17

人と環境の、よりよい関係をつくるために



わたしたちは、トータルソリューションを実現します。

美しく豊かな地球と快適な生活環境を次世代に手渡すために、英知と先進技術を結集。国際的なキーワードとなっている「接続可能な発展」を目指し、長期的なレンジに立った構想と社会作りを確立することが重要になりました。また、複雑な原因が絡み合う環境問題は、個人・企業・行政が一体となり取り組み地球的規模で解決することが求められます。

南薩東京社は、環境にかかわるさまざまな分野で積み上げた実績と技術を駆使して、人と環境のよりよい関係をつくるため、廃棄物・エネルギー・大気・水・環境サービスにわたり、トータルソリューションを実現します。

浄化槽事業 1

維

Maintenance

浄化槽保守点検

適切な維持管理で生活排水をクリーンな状態に。

私たち浄化槽保守点検の仕事は、環境省令に基づく点検を行っております。浄化槽の技術基準及び性能を正常に維持し、適正な水質を確保しております。その為日々の点検調整を行い公共水域の水質保全、生活環境の向上に努めております。

浄 化 槽 清 掃

浄化槽の機能を改善し自然環境を守る。

清掃課はスカム、汚泥の抜取り、浄化槽清掃が主な仕事です。弊社が2台所有する濃縮汚泥車により、処理場への投入量が抑えられ、エコ対応、経費削減の効果があります。今後も綺麗な水を排水出来るようしっかり清掃してまいります。

運

Transportation

一般廃棄物収集・運搬

万全の管理体制で廃棄物を安全に収集・運搬

収集課は弊社の基本である汲取り業務を行なっております。パネル型バキュームカーになり、各地域のイベント、名所などの風景をパネルに掲載し地域のPR活動を行なっております。

適

Proper

廃棄物処理業 2

ゴミ中継基地

適切な資源管理で、様々なコストの増加抑制と削減

ごみ中継基地では、南さつま市（坊津を除く）の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを受け入れています。受け入れたごみを品目や素材ごとに分別し、清掃センターまで搬出します。また、家庭で不要になったごみの収集業務も行っております。

環

recycling

リサイクル事業

南薩西部リサイクルセンター

大切な資源を有効活用し地域循環型社会形成を推進

リサイクルセンターでは、家庭から集められた資源ごみを選別、圧縮して指定再生事業者に出荷しています。資源品目のひとつで廃食油においては、再生燃料化装置を導入し軽油代替燃料を精製してごみ収集車や重機に使用する事で資源の有効利用を行っております。

環　境　方　針

基本理念

有限会社　南薩東京社は、「おかげさまで」をモットーに、「地域環境に貢献し、ひいては地球環境と共存すること」を経営理念とし地球環境保全に配慮しながら、経済的・技術的に可能な範囲で、企業活動を行う。

行動指針

当社は、基本理念の実現に向けて以下のことを行動指針とし、定期的に評価及び見直しを行い、継続的改善を行う。

1．社員一人ひとりが地域社会の一員として事業活動の中で地域・地球環境保全に配慮し、環境負荷の削減に努める。

① 地球温暖化対策が人類共通の課題であることを認識し、ガソリン、軽油の効率的運転推進による化石燃料と電気エネルギーの削減に努め、温室効果ガス排出抑制を図る。

② 一般及び産業廃棄物の収集運搬・処分、各種サービス等の企業活動において、減量、再利用、再資源化等を推進し、環境保全に役立てる。

③ 水資源の有効利用に努める。

④ グリーン購入を心掛ける。

⑤ 化学物質の管理を適正に行う。

⑥ 廃食油の有効活用を積極的に行う。

⑦ 施設見学依頼等の受け入れやリサイクル情報の発信を通して、地域社会の環境保全に貢献する。

⑧ 太陽光発電の普及を通じて温室効果ガス排出抑制に貢献する

2．環境関連法規や条例等を、遵守する。

3．環境方針を全従業員に周知すると共に社外に公表する。

2007年　3月15日制定
2013年　2月22日改定
2017年　2月17日改定

NANSATSU TOKYOSHA Co.,Ltd.

鹿児島県南さつま市加世田村原３７００番地１
有限会社　南　薩　東　京　社
代表取締役　鳥　越　澄　夫

過去の実績および2021年度環境目標

2016年度から2019年度までの実績を以下に示す。

項　目		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
		実績	実績	実績	実績
二酸化炭素排出削減	単位				
電気使用量	kWh	73,317	65,765	64,280	69,501
自動車燃料の削減　軽油使用量	L	126,363	123,925	123,094	128,868
ガソリン使用量	L	32,244	29,874	29,444	29,982
全体の CO_2 排出量	Kg-CO_2	451,610	427,500	421,611	434,817
水資源投入量	m^3	2,063	2,286	2,275	2,400
廃棄物総排出量 ・取扱い廃棄物　リサイクル率	%	100%	100%	100%	100%
・自社から排出される廃棄物	k g	2,410	2,440	2,200	2,410
グリーン購入率	%	94	95	90	95
化学物質の管理	回	12	12	12	12

2019年度より過去の取組状況を踏まえ、2016年度から2018年度の3年平均を基準値として中長期環境目標計画を策定した。水資源に関しては、パッカー車の洗車が社内洗浄に変更となった2017年度から2018年度の平均を基準とした。

エコアクション２１の取組も16年目となり、大幅に削減できる見通しはないので、削減目標については削減率を－0.1%とし、現状に即した環境目標値を設定することにより、活動意欲につなげ達成を目指していく。グリーン購入率は１%ずつ増やしていき、紙資源以外にも品目数を増やしていきたい。

また、より取組やすくわかりやすくするために、二酸化炭素排出量は全体の量を把握し、排出量の大きい電気・燃料については、それぞれの単位における削減目標を設定することとした。取扱廃棄物に関しては、自社の取組だけでは目標設定できない部分が多いため、自社から排出される一般廃棄物削減のみとした。

項　目		2015-18平均	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		基準値	環境目標	環境目標	環境目標	環境目標
二酸化炭素排出削減	単位					
電気使用量	kWh	67,638	67,570 (-0.1%)	67,503 (-0.2%)	67,435 (-0.3%)	67,367 (-0.4%)
自動車燃料の削減軽油使用量	L	124,460	124,336 (-0.1%)	124,211 (-0.2%)	124,087 (-0.3%)	123,962 (-0.4%)
ガソリン使用量	L	30,521	30,490 (-0.1%)	30,460 (-0.2%)	30,429 (-0.3%)	30,399 (-0.4%)
全体の CO_2 排出量	Kg-CO_2	439,175	438,736 (-0.1%)	438,297 (-0.2%)	437,857 (-0.3%)	437,418 (-0.4%)
水資源投入量(H29-30年平均)	m^3	2,208	2,205 (-0.1%)	2,203 (-0.2%)	2,201 (-0.3%)	2,199 (-0.4%)
廃棄物総排出量 ・自社から排出される廃棄物	k g	2,350	2,348 (-0.1%)	2,345 (-0.2%)	2,343 (-0.3%)	2,341 (-0.4%)
グリーン購入率	%	84	85	86	87	88
化学物質の管理	回	12	12	12	12	12

※電気使用量の CO_2 排出係数は、ナンワエナジーの2017年度排出係数0.465kg-CO_2/kwを使用。

2021年度主な環境活動計画及び取組み状況の評価

○：全員行った　△：一部行えなかった　×：全く行えなかった

項　目	環境活動内容　　☆は２０年度新規取組み	評価	
		本社	ソーラー
二酸化炭素排出量	電気使用量		
	・　事務所及びリサイクルセンターの電気等使わない場所はこまめに消灯	○	○
	・　節電を周知し、待機電力をこまめに切る	○	○
	・　温度計を活用しエアコン使用のルール化を図る	△	○
	・　業務改善により残業をなくし、省エネ化につなげる	△	○
	☆　冷暖房設備使用の効率化を図る	○	○
	自動車燃料の削減		
	・　アイドリングストップ「地球にやさしく経済的な運転」の強化	○	○
	・　汚泥濃縮車による輸送回数削減	△	—
	☆　ごみ回収・浄化槽管理ルートの見直し、走行距離の短縮	△	—
水資源投入量	水道の節水		
	・　スクリーン、計量ＢＯＸ洗浄、台所の節水を強化する	○	○
	・　浄化槽清掃後の水張りは、処理水を利用する	○	○
	・　各車両の洗車時は、バケツに給水し洗車する	△	○
	・　火山灰除去による洗車方法を検討&改善を行う	○	○
	・　関連事業所へ節水の協力を依頼する	○	○
廃棄物	可燃、最終処分量の削減		
	・　消毒剤の入った段ボール等はリサイクル処分する	○	—
	・　薬品ビニール袋を再利用	○	—
	・　清掃用具を長持ちさせ廃棄物を減らす	○	—
	・　事務所からの廃棄物は、分別回収を徹底し再資源化を図る。	○	○
	・　メモ用紙として再利用する	○	○
グリーン購入率	・　用紙類は100%グリーン製品を購入する	○	○
	・　グリーン購入できる事務用品の品目を増やす	△	△
化学物質の管理	化学物質管理チェック表を作成し、毎月１回定期的にチェックを行う。	○	—

2021 年度環境負荷の詳細な実績と評価

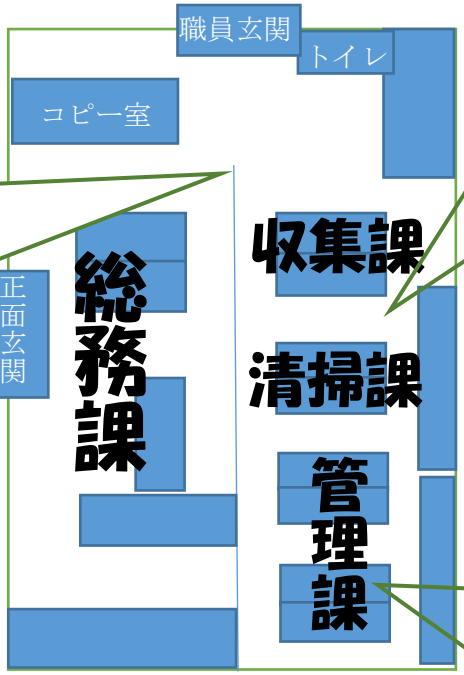
節電・グリーン購入

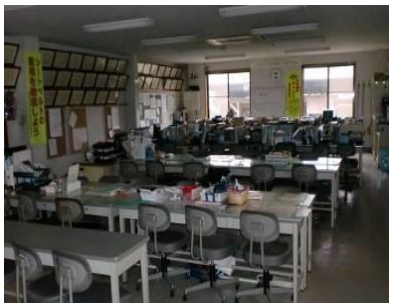
総務課　主任　仮屋　香子さん

電気使用量は、エアコンの故障により、使用することができない期間があったため、今年度は、目標や昨年度よりも大幅に削減することができた。しかし、一時的なことなので、次年度までは、今までの目標設定を継続して、できることから取り組んでいきたい。また、電気事業所との契約も地元の自然エネルギーを使用している事業所へ変更し、排出量を0にしていきたい。

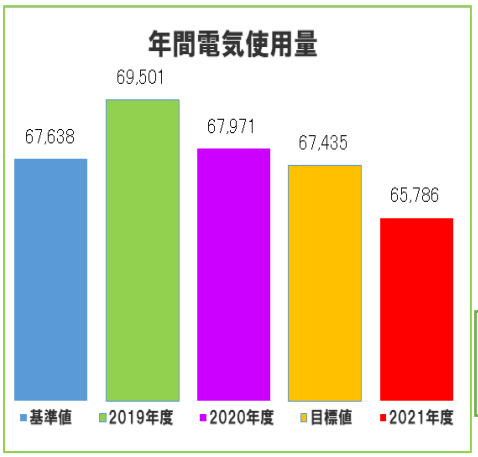
グリーン購入は、新しい項目は増やすことが出来なかったが、目標は達成することができた。購入時は、常にマークを意識して購入できている。

仕切り戸を活用し温度調整している





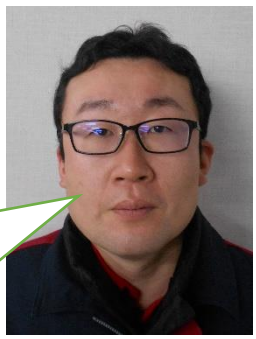
誰もいない時の消灯の徹底



リサイクルセンター
(缶やペットボトルを分別・圧縮)

回収ルートの見直し

燃料



重機の廃食用油の活用、定期的回収ルートの見直し、効率の良い回収方法の検証など、削減対策を行っている。しかし、人口は減少しているが、世帯数が増加しているため、浄化槽点検の件数は、年々増加している。それに合わせて、軽油・ガソリン使用量も年々増加しており、削減することが困難である。それらの状況も踏まえ、環境目標の見直しを提案しながら、次年度も、みんなで知恵を出し合い、出来ることからコツコツと燃料削減に努めていきたい。　　管理課　係長　鎌倉さん

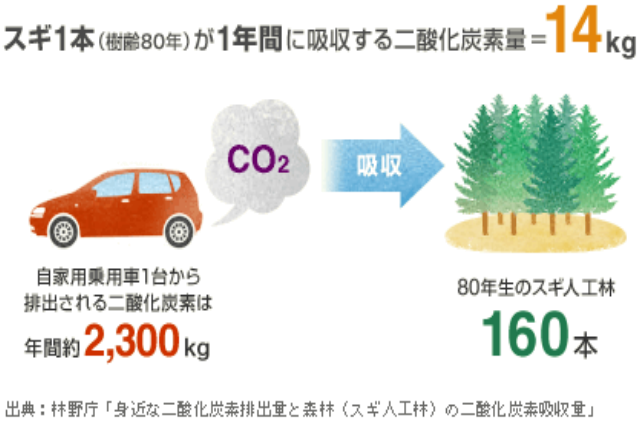
項　目		2015-18 年度平均	2021 年度	
		基準値	環境目標	年間実績
二酸化炭素排出削減				
・電気使用量	kWh	67,638	67,435 (-0.3%)	65,786(-2.7%)
・自動車燃料の削減　軽油車両使用量	L	124,460	124,087(-0.3%)	130,426(+4.8%)
ガソリン使用量	L	30,521	30,429(-0.3%)	30,488(-0.1%)
全体の CO_2 排出量	kg-CO_2	439,175	437,857(-0.3%)	438,045(-0.3%)
グリーン購入率	%	84	87	96

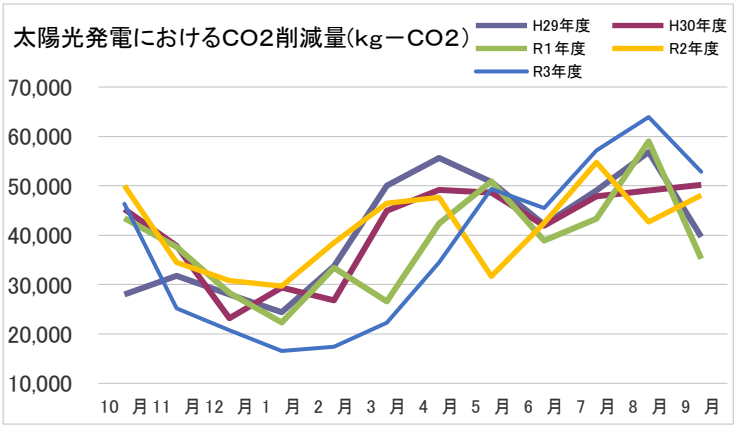
※電気使用量の CO_2 排出係数は、ナンワエナジーの 2017 年度排出係数 0.465kg-CO_2/kw を使用。

太陽光発電による CO_2 削減

2013 年 8 月に当社敷地内に 500kWh のメガソーラーを設置し、更に地域のエネルギー削減に貢献しています。

2017 年度から吹上発電所も新たに開設し更に CO_2 削減に貢献しています。





2021 年度は、年間 465,432kg-CO_2 に相当する太陽光発電を売電したため杉人工林に換算すると

33,245 本の杉の木に相当する CO_2 排出量削減に貢献したこととなる。

※電気使用量の CO_2 排出係数は、九州電力の 2021 年度係数 0.479kg-CO_2/kw を使用した。

今年度は、吹上発電所の故障により、例年よりも少ない量となってしまったが、会社全体の総排出量と太陽光発電による削減量により排出量 0 を達成できた。太陽光パネルの点検などを定期的に行い、長く電気供給に貢献していきたい。

水資源投入量

項　目	2015－18 年度平均	2021 年度	
	基準値	環境目標	年間実績
水資源投入量 (m^3)	２，２０８	２，２０１ (-0.3%)	２，１１０ (-4.4%)

洗車はバケツを活用

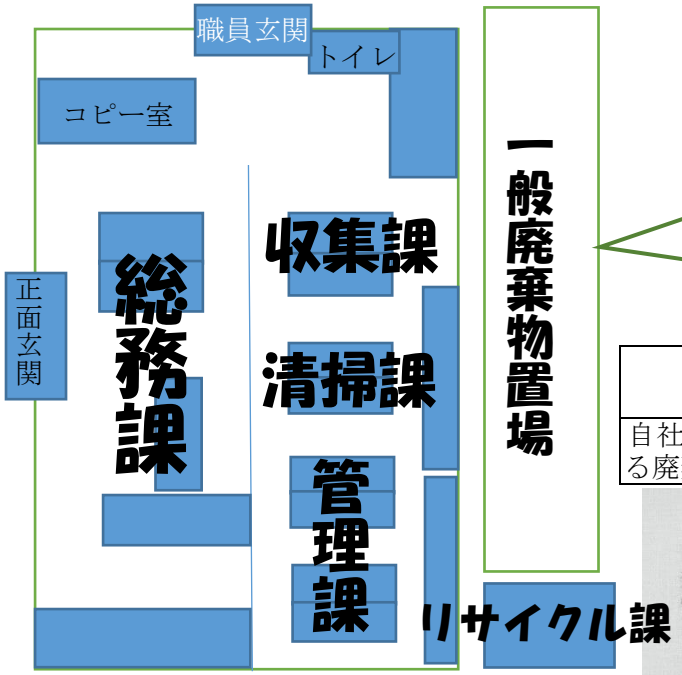
今年度は、目標よりも削減することができた。一人一人が日頃の生活の中で、節水をこころがけたことが結果に結びついてきたと思われる。

今年度の途中から、ソーラー部門の水使用がなくなっているため、今後の水使用量の目標設定を検討していきたい。

これからも衛生管理も考慮しながら、みんなで協力して削減に努めていきたい。

収集課　係長　生駒さん

廃棄物総排出



項　目	2015-18 年度平均	2021 年度	
	基準値	環境目標	年間実績
自社から排出される廃棄物	2,350kg	2,343kg (-0.3%)	1,930kg (-17.9%)

収集課　下前さん

今年度は、個人情報等の書類廃棄量や個人が排出するゴミが少なかったため、大幅に削減でき、目標を達成できた。この調子で、分別を徹底し、ゴミではなく資源として活用できるように努めていきたい。

リサイクルセンター
(缶やペットボトルを分別・圧縮)

環境教育活動

環境リサイクル課　坂上さん

本年度は、見学者が例年通りにもどってきました。コロナ対策を十分に行い、出来るだけ多くの方に見学に来てもらえるようにしていきたい。

社内教育は、浄化槽の勉強会を開催したり、鹿児島県環境協会主催の講習会に参加するなど、多くの従業員が積極的に参加出来た。今年度の実績を踏まえ、社内の教育計画をたて次年度はより一層教育に力を入れていきたい。

化学物質の管理

項　目	2015-18 年度平均	2021 年度	
	基準値	環境目標	年間実績
・化学物質の管理	12 回	12 回	12 回

保守点検中

保守点検表に合わせて、チェック表を作成し保管管理において適正に毎月１回チェックを行った。

今後も引き続き定期的にチェックを行い適正に管理する。

管理課　下村さん

地域社会貢献活動

今年度は、コロナ対策を行い、子ども達と一緒にマラソンの練習をしたり、海岸清掃を行うころができました。今後も地域の人達とのつながりを大切にしていきたい。

見守りカメラ

浄化槽の清掃、点検等で地域を周ることが多いため、
地域での事故防止や交通安全のために、すべての車両に
みまもりカメラをつけています。
警察とも連携して活動を行っています。

会社受賞歴

2002 年　鹿児島県知事表彰（生活環境改善事業功労）
　　環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰（浄化槽関係事業功労）
2004 年　環境大臣表彰（生活環境改善事業功労）
2011 年　警察庁長官・全日本交通安全協会会長表彰
　　（交通栄誉賞緑十字銀章）
2015 年　藍綬褒章受章
2022 年　旭日小綬章

SDG s に参加しています

世界で取組が行われている持続可能な開発目標（SDGs）に当社の専門を活かし取組を行っています。17 の項目のうち、昨年度の４つ（6・7・13・14）から、２つ（５・８）を追加して、６つの取り組みを主に行っています。

6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

５０年前に当社が目指した取組が世界とつながってきました。当社の全ての活動がこの目標につながっています。

エコアクション２１の取組も 16 年目になります。太陽光発電事業・販売を行い、電力も地域のクリーンエネルギーを使った業者から購入しています。それにより、自社の取組だけではなく地域のクリーンエネルギー活用にも貢献しています。今後は、自社から排出するCO_2排出量をもっと削減できるように努め、地域の削減につなげていきたい。

7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

8. 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

性別に関係なく、能力を考慮した人事を行っています。また、定年の年齢枠を広げ、経験を活かした人材育成を行っています。合わせて、社内の陸上部や野球部などの活動にも支援を行っています。

関連法規の違反・訴訟など

法的義務を受ける主な環境関連法・条例等は以下の通りです。

法令・条例名	該当する設備・項目	要求事項
浄化槽法	浄化槽保守点検業	許可証・点検記録
	浄化槽清掃業	許可・清掃記録
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業 一般廃棄物中間処理業 産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処理業	許可・保管表示 委託契約・マニュフェスト発行・管理
騒音・振動規制法	送風機・圧縮機・破砕機	指定地域において区域別時間での基準を超えない
悪臭防止法	し尿処理場	定期検査
毒物及び劇物取締法	BDF 精製用メタノール・苛性ソーダ	施錠、飛散、漏れ、流出、誤飲等の防止措置 容器表示、保管場所表示 事故時の届出
自動車リサイクル法	自動車	新車購入時
フロン排出抑制法	空調機（7.5Kw 以上なし）	自主簡易点検 廃棄時適正処理
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・洗濯機	廃棄時適正処理 リサイクル料支払い
改正リサイクル法	パソコン	廃棄時メーカー引き取り
グリーン購入法	事務用品	購入時出来る限り環境配慮製品購入 地方自治体に適用
消防法	BDF 精製機･メタノール･合成樹脂	少量危険物・指定可燃物の取り扱い･貯蔵届出･表示

環境関連法規等の遵守・評価した結果、違反はありません。また、行政や住民からの指摘・訴訟などはありませんでした。（2022 年 12 月 20 日）

代表者による全体の評価と見直し

新型コロナウイルス感染拡大から早三年、まだまだ終息の兆しがみえない中、ガソリン価格の高騰・市場経済の急騰など私たちを取り巻く環境が変わりつつあります。

また、最近よく耳にする『持続可能な開発目標　ＳＤＧｓ　』これは、国連サミットで採択されたもので、この中には１７の大きな目標があります。６番目に『安全な水とトイレを世界中に　すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する』とあります。正に私たちの仕事、廃棄物処理や浄化槽の維持管理です。

これらに携わる私たちに課せられた社会的責任は、ますます重要になってきています。これらの課題をチャンスととらえ、仕事をする中で、どのような場面でも、如何に受け入れ・どう取り組むか、今何をすべきかを考えながら、日々研鑽を積みながら、一歩一歩着実に行動し、 一人一人が日々の仕事に真剣に取り組み、確実に遂行していける環境をつくっていきたいと思います。

そのためにも、「おかげさま」 このすばらしい社訓の元、私たちは、地域の皆様・家族・それぞれに関わっていただく多くの方々に感謝の念を持って、行動して行きたいと思います。

そして、『感謝の気持ちを持ち続ける』、どの様な場合でも迅速・丁寧に作業をする『スピード感』。『健康の自己管理』。この三つの言葉を常に心にとめ、全社員一丸となって業務管理を徹底し、無理・無駄を省きながら、信頼と作業効率を高めていきたいと思います。

エコアクション２１の取組も今年で１６年目となり、SDGｓの活動等を通じて、コロナ禍の中、「未来の子ども達に美しく豊かな地球と生活環境を残していくために今できること」を常に考え、地域に愛され、求められる会社として邁進してまいります。

代表取締役社長　松尾　隆寛

2022年度主な環境活動計画及び取組み

昨年度取り組み結果が〇にならなかった項目を強化し、各課協力して環境活動を行う

項　目	環境活動内容
二酸化炭素排出量	電気使用量 ・　事務所及びリサイクルセンターの電気等使わない場所はこまめに消灯 ・　節電を周知し、待機電力をこまめに切る ・　温度計を活用しエアコン使用のルール化を図る ・　業務改善により残業をなくし、省エネ化につなげる ・　冷暖房設備使用の効率化を図る 自動車燃料の削減 ・　アイドリングストップ「地球にやさしく経済的な運転」の強化 ・　汚泥濃縮車による輸送回数削減 ・　ごみ回収・浄化槽管理ルートの見直し、走行距離の短縮
水資源投入量	水道の節水 ・　スクリーン、計量ＢＯＸ洗浄、台所の節水を強化する ・　浄化槽清掃後の水張りは、処理水を利用する ・　各車両の洗車時は、バケツに給水し洗車する ・　火山灰除去による洗車方法を検討&改善を行う ・　関連事業所へ節水の協力を依頼する
廃　　棄　　物	可燃、最終処分量の削減 ・　消毒剤の入った段ボール等はリサイクル処分する ・　薬品ビニール袋を再利用 ・　清掃用具を長持ちさせ廃棄物を減らす ・　事務所からの廃棄物は、分別回収を徹底し再資源化を図る。 ・　メモ用紙として再利用する
グリーン購入率	・　用紙類は100%グリーン製品を購入する ・　グリーン購入できる事務用品の品目を増やす
化学物質の管理	化学物質管理チェック表を作成し、毎月１回定期的にチェックを行う。

NANSATSU TOKYOSHA Co.,Ltd.